

最終報告用

平成 29 年度 御殿場市議会総務委員会 後期行政視察報告書

報告者氏名：総務委員長 田代 耕一

1. 視察日程

平成 29 年 11 月 7 日（火）から 11 月 8 日（水）まで

2. 視察先及び視察内容

(1) 群馬県前橋市（11 月 7 日）

マイタク（デマンド相乗りタクシー）の事業について

(2) 群馬県桐生市（11 月 8 日）

人口減少対策について

3. 参加者

委員長 田代 耕一

副委員長 高橋 靖 銘

委員 芹 沢 修 治 高 木 理 文 稲 葉 元 也

勝間田 幹 也 杉 山 章 夫

当局職員 鎌 野 武（魅力発信課長）

事務局 三 輪 徹（議事課長）

4. 視察内容

■ 『前橋市マイタク（デマンド相乗りタクシー）の事業について』

平成29年11月7日（火） 14:00～15:30 於：前橋市議会棟

視察先対応者

部署・役職名等 前橋市政策部交通政策課 課長 細谷精一

部署・役職名等 前橋市政策部交通政策課 課長補佐 近藤博之

部署・役職名等 前橋市政策部交通政策課 主任 関口晴久

≪視察研修の目的≫

総務委員会は「人口減少対策」をテーマとして昨年に引き続き取り組んでいる。少子高齢化が進む中で「暮らしやすいまちづくり」を考えるには、交通弱者に対する公共交通は最重要課題である。視察地の前橋市は、平成28年から全国に先駆けて、「すべての75歳以上の高齢者」に対しタクシー利助成を始めた。公共交通の理想に近い「ドア to ドア」のタクシー利用助成には財源をはじめ様々な課題があると推察する。公共交通は地域性により大きく異なるが、果敢に挑戦した前橋市の対応を視察する。

≪視察先の概要≫

かつては「糸の町」として栄えた市制125年の歴史を誇る県都。東京から100キロメートル圏にあり、関東自動車道、北関東自動車道などが通る。
住みやすさランキング186位 面積311.59㎢ 人口336,154人
主要プロジェクトは「県都まえばし育成プロジェクト」「ふれあいコミュニティ創造プログラム」「クリーンシティ実現プログラム」「前橋産業成長プログラム」「農ある暮らしの実現」「前橋クオリティ向上プログラム」など
平成28年から全国に先駆けて、すべての75歳以上の高齢者に対しタクシー利用助成を始めた。

《視察内容》

1 マイタク

前橋市では移動困難者対策としてマイタク（でまんど相乗りタクシー）の運行を実施しており、利用希望者は事前登録し市内のタクシーを利用した際、運賃の一部を市が支援する制度を実施していた。登録条件、支援内容は以下の通りである。尚、午前7時から午後6時までの乗車が支援対象となる。年間上限120回の利用可能

《登録条件》

- ・前橋市に住民登録がること。
- ・年齢75歳以上の方
- ・年齢65歳以上で運転免許証（普通・中型・大型免許）をお持ちで無い方
- ・下記の1～8のいずれかの該当者

- ① 未体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④発達障害者、⑤要介護・要支援認定者、介護予防・生活支援サービス事業対象者（総合事業）⑥難病患者・小児慢性特定疾病患者、⑦妊産婦 ⑧運転免許証を自主返納した方

《支援内容》

タクシーに乗車する登録者の人数によって支援の内容が異なる。

- ・登録者が複数でタクシーに同乗したとき
⇒タクシー運賃に対して1人1乗車につき最大500円を支援
- ・登録者が1人でタクシーに乗車したとき
⇒タクシー運賃の半額を支援。支援額の上限は1運行1,000円まで。
※付添い人も同乗できるが、支援の対象外。
※利用状況は平成28年度で利用者数10,602人、登録者数18,654人に対し、利用者割合は56.8%であった。概ね利用者からは好評である。

2 マイタク以外の支援

(1) 高齢者運転免許証自主返納に対する支援

- a.公共交通利用権5,500円相当を贈呈。ふるさとバス・るんるんバス回数券、バスガード、上電マイレール回数券のいずれか一つ
- b.運転経歴証明書交付手数料の1,000円を助成
※証明書を提示するとタクシー1割引、上電（65歳以上）5割引
- c.一般バスカード、高齢者バスカード 障害者手帳割引、バス、JR、上電、タクシー利用の割引 など



《 考 察 》

アンケート結果によると、利用の主な目的は「病院」、「買い物」が8割を占め、マイタクの導入効果の確認が出来ていた。また、利用者は現状の制度内容に概ね満足をしているとのことであった。しかし、相乗りといっても知り合い同士や夫婦等であり、全く知らない人同士行き先が同じだから相乗り（同乗）するなどといった取り組みはされていなかった。

また、地域毎利用頻度に差があり、特に都心部（本庁管内）の利用が多く、支援額の範囲内での利用が多いのではとないかと推察する。

財政面では、平成29年度はこのまま利用が続くとマイタク事業のみで1億6千万円を越える支出（支援額）となり、当初試算していた9千万円を大幅に超えてしまう。前橋市の公共交通の取り組み全体では3億円を越えるとのことであった。やはり、ある意味かゆいところに手の届くサービスは財政を圧迫しかねる。一度始めてしまった事業を途中で取りやめることは難しい部分があると感じた。

当市においても平成29年2月より、御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業を開始したが、P・D・C・Aサイクルをしっかりと回し実施事業の確認・検証そして早い時期に改善を確実に進めていくべきと強く感じた。

相乗りするのにお得であるが、目的地や時間等を合わせる必要性があり困難かとおもわれたが、40%の利用率があれば十分かと思われる。

支援額が月に1,000万円超であり財政負担は大きいが免許証返納者や高齢者、障害者等の外出の機会が増えることにつながり、また、タクシー会社や商店等にもメリットがあると思われる。また、前橋市には運行範囲が限られているデマンドバスがある。

課題も多くあるようだが、運賃は一律大人200円、中学生以下100円と安価であり、また、移動手段の乏しい地域には有効な施策かと思われる。

高齢化社会を迎え、ドア・ツー・ドアの公共交通が理想ではあるが、財政負担と利用率のバランスが施策へのポイントであると考える。

タクシー券は当市の2倍であるが、見方によっては手厚いとみているが、今後の財政への影響は大きいと思われる。当市は現状維持の公算が良いと思われる。

ふるさとバス等デマンドバスについては、当市においても喫緊の課題だが、コースなど空白域、バス路線等廃止がささやかれる 路線等の見極めが大切な課題となる。

■ 『群馬県桐生市人口減少対策について』

平成29年11月8日（火） 10:00～11:30 於：桐生市議会棟

視察先対応者

視察先対応部署・役職名等 桐生市総合政策部企画課総合戦略推進担当係長 増山隆幸

視察先対応部署・役職名等 桐生市総合政策部企画課総合戦略推進担当主任 馬場秀穂

≪視察研修の目的≫

当市も2060年には現状より約1万人減少する人口の推移を予測している。桐生市は毎年1200人を超える人口減少が進行しており（県内12市の中で最も低い合計特殊出生率、最も高い高齢化率、土地価格の安い近隣他市への転出）、既存の施策だけでは人口減少に歯止めがかからない状況にある。人口の増える街づくりを進める当市にとっても共通の課題であり、参考になる取り組みをご教示いただいた。

≪視察先の概要≫

栃木県との県境。05年6月の新里村・黒保根村との合併により西は赤城山頂まで達する。旧桐生地域はお古くから織物が盛んで「西の西陣東の桐生」とも称された。市街地の一部が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、歴史的な環境を活かしたまちづくりを進めている。

住みやすさランキング724位 面積274.45km² 人口114,714人

主要プロジェクトは「人口減少対策」「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「桐生市環境先進都市将来構想」など

都会から移住者を増やす取り組みは注目を集めている

≪視察内容≫

桐生市は、人口減少が進み、更に合併前より著しくなった。そこで人口対策室を設置し以下の施策を掲げた。

住宅→住宅取得応援事業（最大200万円補助）

子育て→保育園・幼稚園の第3子以降保育料の無料化

企業誘致→新たな工業団地整備、誘致優遇制度拡充

教育→サイエンスドクター事業の全中学での実施、未来創生塾への支援

《考 察》

対応策として平成 25 年 3 月末に「人口減少対策に関する提言書」を作成した。その後人口減少対策を掌る「人口対策室」を設置し『住むなら桐生』と思えるような施策を展開している。これは総合戦略の中に組み込まれていて事業が進められている。

主には住宅、子育て、雇用、教育、定住促進、婚活が大きな柱になっている。特徴的なものは住宅取得のための最大 200 万円の補助事業。保育園・幼稚園の第 3 子以降の保育料無料化。さらに群馬大学理工学部と連携した教育活動などがあった。ただ、基本的な対策はどこも共通という感は否めなかった。

桐生市は江戸後期から昭和初期の古い建造物がたくさん保存されており、この街の魅力をつくりだしている。実際に立派な魅力発信映像も作成されていた。当市にはないものであるので、活用方法では定住促進につながらないものかと思われた住宅補助はバラマキといわれることもある。効果の検証は、難しいようである。しかしながら地方自治体にとってこれらの対策を取らないと人口減少は、止まらない。当市においては、これらの事業が実施されているが、桐生市の事業を当市にとっても参考に取り組むべきである。

